

・・・鈴木は正真正銘の日本人である。日本における影の重要性を理解している。日常の世界の中に現れる柔らかな光の洗練性をわかっている。それは影の階層化と言ってよいだろう。大切な事は物質そのものではなく、その影によるものであり、谷崎が言うように、さまざまな物質の並置によって明暗が生み出す効果にあるのだ。日本人は古色の作用を好み、庭では日陰の多い草木を大切に扱う。そして水晶の暗さを愛するのは半透明な表面が太陽の光を吸収し、ぼんやりと夢想したように光を閉じ込めているからだ。

美術評論家、哲学者

フェルナンド・フォーニエ「影の戯れ」抜粋